

津島は愛知県西部に位置する都市です。津島の中心市街地は、江戸期の津島文化ともいべきものが今なお色濃く残り、懐かしい空間を形成しています。古い町家の連なる町並みと古寺社の風景が広がっています。

千年以上の歴史がある津島神社(津島牛頭天王社)は、京都の八坂神社(祇園社)と並ぶ牛頭天王信仰の聖地でした。牛頭天王の御神徳は疫病退散・無病息災でしたので、津島神社の分霊社は全国に3000社もあります。

中世以来、津島は伊勢と尾張をつなぐ湊として、また津島牛頭天王社の門前町として経済的繁栄を謳歌し、「尾張の金銀はすべて津島を通る」と言われるほどでした。勝幡に拠点をついた織田信定(信長の祖父)、信秀(信長の父)は津島を支配することによって、勢力域を拡大しました。信長にとっても、商業都市津島は経済的台所であり、津島と熱田の支援によって尾張を統一し、天下布武の階段を駆け上りました。「信長の台所 津島」といわれる所以です。

津島は祭りの町ともいわれます。観る人を幽玄の世界へ誘う夏の尾張津島天王祭、からくりの妙技を見せる山車や威勢のいい石探祭車が巡行する尾張津島秋まつり、国内最大級の藤花薫る藤まつりが行われています



平成26年に“尾張津島天王祭”の車楽舟行事がユネスコ世界無形文化遺産登録候補として選定されました。本登録に向け、昨年より「津島の祭礼」が新たに公式テキストとして追加されました。



第9回 信長の台所歴史検定

『津島の達人』試験を実施決定！

試験日：平成29年3月19日(日)

試験会場：津島商工会議所

詳細につきましては、12月上旬ごろを予定しています。

わが町自慢の“津島の達人”を多く募集！上級・初級併願受験ができます。

まちづくり活性化事業の一環として、多くの方々に津島の歴史文化や産業・地域に関する情報を知り、地元へ愛着を持っていただくとともに、豊かな地域風土づくりを目指して検定試験を実施します。



この検定資格を持つことによって、市内外に情報発信し、観光の振興、ひいては津島市の今後のまちづくりに資することを目的としています。